

課題概要

- 課題名 「生命医学イノベーション創出リーダー養成」
○総括責任者名 「 福田 秀樹 」
○機関名 「 国立大学法人神戸大学 」
(実施予定期間 平成22年度～平成26年度)

機関の現状

神戸大学は総合大学として、全ての教育分野において、学部から博士課程に至る一貫した教育研究の部局体制を完備している。現在、14研究科（人文学、国際文化学、人間発達環境学、法学、経済学、経営学、理学、工学、農学、海事科学、国際協力、医学、保健学、システム情報学）を整備するとともに、先端融合研究を戦略的に遂行するため、「自然科学系先端融合研究環」を設置するなど、教育研究体制の整備を着実に展開している。また、グローバルCOE3拠点に加え、大学が独自に設けている教育研究活性化支援経費および若手研究者育成支援経費を投入し、学内発の卓越した研究プロジェクト等を一層充実させ、若手研究人材育成を研究科・専攻・分野横断的に支援している。

イノベーション人材養成システムの概要

プロジェクト実施機関として、神戸大学学長直属の生命医学イノベーション創出人材養成センターを設立する。本センターには、人材養成センター運営委員会、選考・養成評価委員会、および人材養成実施本部を置く。運営委員会は、人材養成センターの最高意思決定機関であり、本プロジェクトに参画する研究科（医・工・保・農）の代表者および複数の学外有識者が常任委員を務めるものとする。選考・養成評価委員会は、学内教員と学外有識者から構成され、本プロジェクトで養成する若手研究人材を選抜するとともに、プログラム修了時の成績評価を行う。人材養成実施本部は、人材養成プログラムの作成を行うとともに、プログラムの実施を推進するプログラム実施担当室を設ける。実践プログラムとして以下のことを実施する。

- ・企業等との共同研究：若手研究人材に産業界での貴重な実地体験を積ませるため、学内シーズと神戸市ポートアイランド地区に集積されているバイオテクノロジー関連企業や、関西バイオメディカルクラスター地区の製薬・医療機器開発企業などの企業のニーズとのマッチングにより若手研究人材の研究開発テーマを設定する。生命医学分野の産業界のニーズを十分に反映させるため、大学の研究指導教員と、企業の研究者が協力して研究開発テーマの設定と研究指導にあたる。

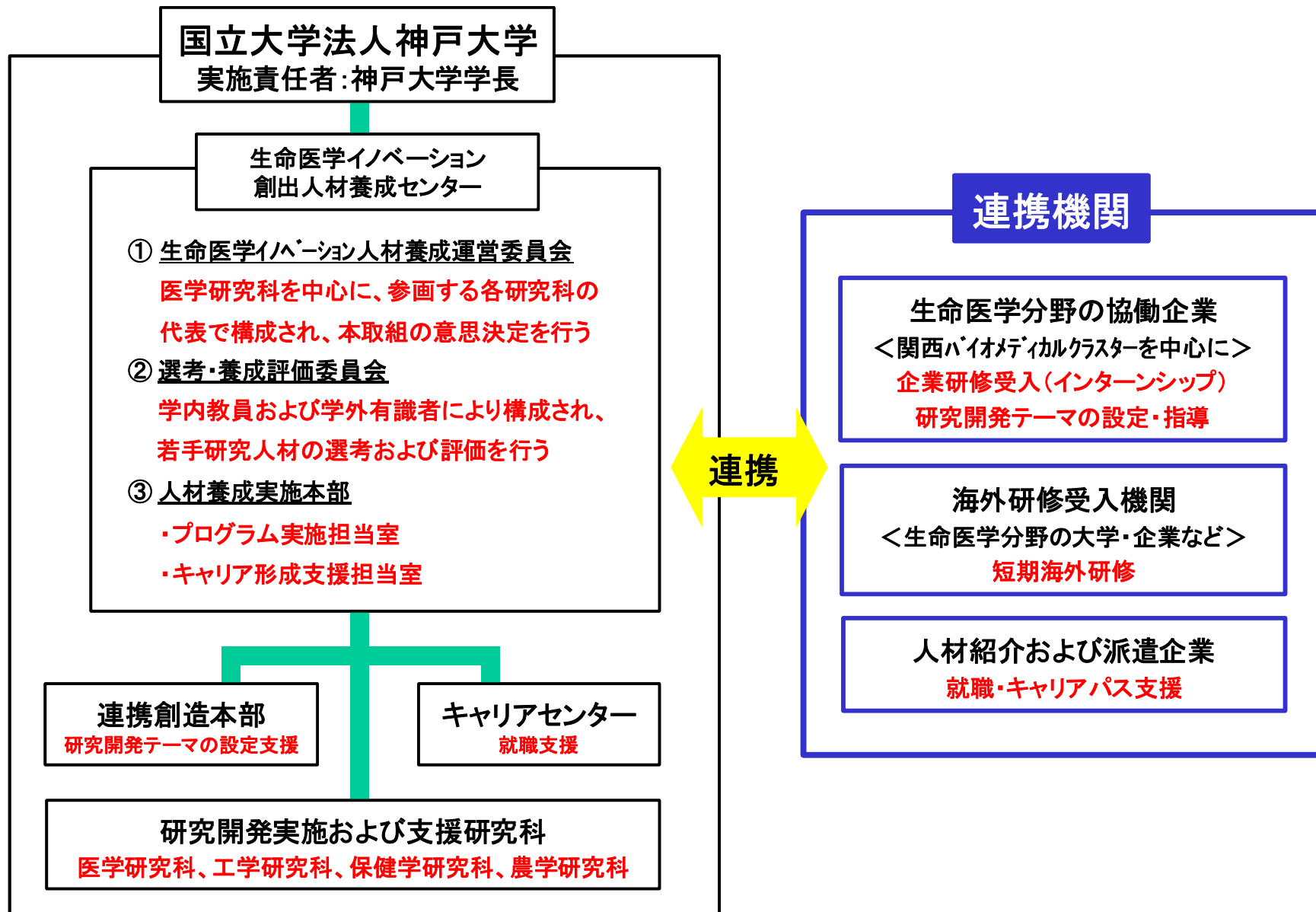
- ・行動能力（コンピテンシー）開発プログラム：基本的なビジネスマナーや企業内でのヒューマンコミュニケーション力の養成に始まり、創薬プロセス、薬事規制、生命医学分野における知的財産戦略、基礎的財務会計知識の修得、ベンチャー起業、企業・経済関連法規の基礎知識、医薬品・医療機器・健康科学関連市場の構造と課題、商品開発全般の基礎知識の修得など、生命医学分野に特化したコンピテンシー開発プログラム構築する。

- ・グローバルコミュニケーション能力開発プログラム：国際的なビジネスシーンにおいても存在感を主張できる人材を養成するため、英語プレゼンテーション能力の強化、英語論文作成能力の養成、海外研修を通じた異文化コミュニケーション能力の養成を図る。

ミッションステートメントの概要

本プログラム3年目終了時に、博士後期課程15名、博士号取得後5年間程度までのポスドク15名の養成、5年目終了時には、博士後期過程25名、ポスドク25名の養成を達成する。その内、企業への就職を3年目には博士後期課程9名、ポスドク9名、5年目終了時には、それぞれ15名を企業へ就職させることを目標とする。

生命医学イノベーション創出リーダー養成:実施体制



生命医学イノベーション創出リーダー養成: 実施内容

生命医学イノベーション創出人材養成センター

生命医学イノベーション創出人材育成推進委員会

博士課程後期課程1年次、医学
博士課程1～2年次、若手研究者

英文リサーチプロポーザル審査
大学内シーズと企業のニーズとの
マッチング

期間1年

年に大学院生5名、若手
研究者5名採択

経済支援

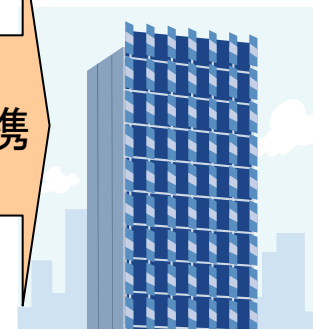
RA支援、ポスドク雇用

実践プログラム

- 1 企業等との共同研究
リサーチ支援
- 2 行動能力開発
- 3 グローバルコミュニケーション能力開発
海外短期派遣
- 4 キャリア形成支援
- 5 卒後支援

企業等連携
機関

連携



ミッションステートメント

- 課題名 「生命医学イノベーション創出リーダー養成」
- 総括責任者名 「福田 秀樹」
- 機関名 「国立大学法人神戸大学」
- (実施予定期間： 平成22年度～平成26年度)

(1) イノベーション人材養成システムの概要

21世紀の成長産業として注目されている生命医学分野の研究開発をリードする若手イノベーション人材の養成は、我が国の経済成長を左右する喫緊の課題である。本プロジェクトでは、医学研究科を始めとする神戸大学の生命医学関連研究科と関西エリアに集積する生命医学関連企業が連携することにより、従来の大学院教育では成しえなかった、企業マインドあふれる若手イノベーション人材を養成する。本プロジェクトから輩出される人材は、高度な専門性に加えて、産業界など実社会のニーズに対する深い理解と優れたグローバルコミュニケーション能力を兼ね備え、生命医学関連企業等において、研究開発の第一線でリーダーとして活躍することが期待される。

(2) 3年目における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数	産業界への 輩出人数
3年目	博士課程(後期) 在籍者	12ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟した職業観を身に付け、チームリーダーとして期待される役割を理解している。 ・産業界の構造と将来展望を理解し、企業ニーズにあった商品・サービスの企画立案、研究開発が実施できる。 ・国際的な幅広い視野を持ち、英語によるプレゼンテーションが可能である。 	15名	9名
	ポストドクター等	12ヶ月	博士後期課程在籍者の到達レベルに加えて、具体的なイノベーション創出を推進出来る。	15名	9名

*養成人数は企業等における研究開発等を行った者の人数とします。

・中間報告時までに構築するイノベーション人材養成システムの内容

プロジェクト実施機関として、生命医学イノベーション創出人材養成センターを設立する。本センターには、人材養成センター運営委員会、選考・養成評価委員会、および人材養成実施本部を置く。人材養成実施本部は、プログラム実施担当室、キャリア形成支援担当室の2部門から構成され、プログラム全体の計画および実施を担当する。

・中間報告時までに作成する実践プログラムの内容

プログラム実施担当室が中心となり、若手研究人材の研究開発テーマを設定する。また、行動能力(コンピテンシー)開発プログラム(創薬プロセス、薬事規制、バイオメディカル分野における知的財産戦略、基礎的財務会計知識の修得、市場分析能力の養成など)、グローバルコミュニケーション能力開発プログラム(英語プレゼンテーション能力の強化、英語論文作成能力の養成、海外

研修など)、企業等での長期取組みプログラム(製薬メーカー、医療機器開発企業などでの企業体験実習)を通じて、若手研究人材の企業マインドを形成する。さらに、若手養成人材の産業界での活躍を促進するため、キャリア形成支援担当室が中心となり、手厚い就職支援とともに、産業界へ就職を果たした若手人材を対象に、ビジネス英語支援、技術相談支援、社外メンタリングの3つの卒業支援プログラムを提供し、産業界での活躍をサポートする。

(3) 実施期間終了時における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数	産業界への 輩出人数
終了時	博士課程(後期) 在籍者	12ヶ月	3年目における博士後期課程在籍者の到達レベルに加え、具体的なイノベーション創出を推進することが出来る。	25名	15名
	ポストドクター等	12ヶ月	博士後期課程在籍者の到達レベルに加えて、研究開発を効果的に市場価値に結実させ、イノベーションの創出を実践出来る。	25名	15名

*養成人数は企業等における研究開発等を行った者の人数とします。

- ・終了時まで構築するイノベーション人材養成システムの内容
学内教員と学外有識者から構成される選考・養成評価委員会による3年目の中間評価を基に、イノベーション人材座養成システムをブラッシュアップする。

- ・終了時まで作成する実践プログラムの内容
学内教員と学外有識者から構成される選考・養成評価委員会による3年目の中間評価を基に、実践プログラムをブラッシュアップする。

(4) 実施期間終了後の取組

科学技術振興調整費による支援終了後、学術研究推進本部が中心となり、神戸大学生命医学分野の国際教育研究拠点に発展させる計画である。

(5) 期待される波及効果

本プログラムは、神戸大学の生命医学関連研究科(医学研究科、工学研究科、保健学研究科、農学研究科)と企業が連携し、若手研究人材の養成に積極的に関与することにより、医薬品、医療機器、健康科学の産業分野で研究開発プロジェクトリーダーもしくはその候補者となりうる即戦力人材を効率的に養成し、産業界へ輩出することが可能になる。さらに、関西地区のバイオメディカル分野の研究開発の促進、市場拡大および新たな雇用創出等の波及効果が期待される。本プログラムは、日本におけるバイオメディカル分野に特化した人材養成システムの先駆的モデルとなるものである。